

【研究シーズテーマ】

大型構造実験に基づく建築構造物の耐震性能の検証

 工学部 建築工学科 教授 **貞末 和史**


工学

Keyword
耐震構造／構造実験／載荷装置


【研究シーズの概要】

耐震防災研究棟に設けられた2軸載荷試験装置は、建築構造物における柱や梁(棒材)、壁(板材)、接合部などに、建物の自重(鉛直荷重)や地震力(水平荷重)を加えることが可能であり、新しい構造システムを開発する際に必要な検証実験を行うことができます。



2軸載荷試験装置



柱・梁



壁



柱脚



柱梁接合部

【新規性・独自性・従来研究(技術)と比べての優位性】

- 垂直荷重3000kN、水平荷重±1000kNの高負荷能力
- プログラム制御による高精度実験
- 各種載荷治具との接続による多様な境界条件

【産業界での展開・用途】

- 構造システム、構造部材の開発
- 耐震補強構工法の開発

連絡・問合せ先

広島工業大学 研究支援機構 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1
 (事務窓口: 研究・地域連携支援部) TEL:082-921-4222 FAX:082-921-8963
 URL <https://www.it-hiroshima.ac.jp/for-research/office/> E-mail kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp